



一学期が終わりました

言葉通りの世界的危機です。ご家族の皆さんは、自分がウイルスを持ち込まないように気を遣いながらの食料調達、家にいる子どもの昼食の準備、除菌を始めとするウイルス対策等、実に大変だったと思います。マスクを買うために何時間も店先で並んだとかアルコールが売り切れで水拭きぐらいしかできない等といった話もありました。その苦勞が子どもたちにも伝わっているのか、子どもたちは実施可能な学習に集中していました。

まだまだこの状況は続くそうです。子どもたちの頑張りをご家族の皆さんの慈愛に心から感謝します。そして、つかの間の夏休みを三密は回避しながらも密度濃く、有意義に過ごしていただけたらと思っています。

一学期間、本当にありがとうございました。

かなり取り返しました

1学期の授業日 (計画) 71日間 (実際) 43日間

夏休み(土日含む) (計画) 35日間 (実際) 19日間

2学期の授業日 (計画) 84日間 (実際) 90日間

これが4月から12月までの学校です。夏休みは半分になりましたが、まだ22日間授業日がたりません。しかし、三密回避でできなくなった授業の時間と子どもたちの集中で、主な学習は終了できました。体育や音楽、生活科や総合などの実施不可能な授業分を取り返さなくてはなりませんが、新型コロナの動向に合わせていくしかありません。

マスク着用、友達と接触しない、三密回避で体育や音楽に制限付き、給食間前向きで無言、これは二学期も続きます。異常が通常になっていきます。

異常が通常に...

ピンチはチャンス？

先生方に子どもたちの様子を聞きました。一学期の附属っ子はとても伸びたとのことでした。先生方の声「・」と伸びた理由を考え「？」で記述しました。家庭や地域ではいかがでしょうか？

①挨拶が良い

- ・挨拶できなかった人ができる人に変身。
 - ・慣れた人への挨拶の声が大きくなった。
 - ・目を見て挨拶の後に楽しい会話ができる。
- ?不審者やコロナも心配でできない人もいたようだ。

②言葉遣いが良い

- ・見違えるほど穏やかに話す人がいる。
 - ・うっかり出してしまう奇声がなくなった。
- ?ソーシャルディスタンスの友達関係への影響。

③授業に集中している

- ・指示に応じて真面目に対応して素早い。
 - ・授業の内容からずれた発言をしない。
- ?コロナ対策もあり学習規律がより徹底した。

他にも「道の歩き方が良い」など、たくさんありました。しかし、弱点もあるそうです。例えば・・・

①人混みでもマスクがいやで外す。

- ・気持ちはわかりますが、日本中のことです。

②登下校で県道を外れると横広がりです。

- ・道はみんなのもの。マスクをしないのは一列で間を開けて歩くから。

大変ですが、「三密回避」を忍耐や持続の心などを育てるチャンスにしてほしいです。家庭や地域でもお声がけをお願いします。

6年生の思い出づくり

前号の親善音楽会に続き、6学年が参加する陸上記録会もやはり中止となりました。新型コロナ対策ではありますが、6年生にとっては悲しい知らせでした。

修学旅行の静岡方面検討をお知らせしたら浜松のクラスター発生です。情勢を見極めながら6年生の思い出づくりを考えています。

終業式で全校児童に話しました

とても短かった一学期が終わります。いつもと全く違う一学期でした。

一学期の勉強をする時間が減りました。そして楽しい時間も減りました。大勢集まっただの歌や演奏はできません。体育でも、三密になるものはできません。だからプールにも入れません。こんな一学期の勉強、校長先生は初めてです。近くで話し合うこともできません。

でも、皆さんは立派でした。我慢して、がんばって、勉強しました。

登下校がいつもと違いました。初めのうちはマスクをして登下校して、上り坂では苦しくて大変でしたね。しばらくして、1列で間を開けて三密を避ければ、マスクをしなくて良いようになったときはとてもうれしかったですね。

皆さんは立派でした。我慢して、がんばって、学校に来ました。

楽しみの行事はどうでしょう。1年生は知らないと思いますが、修学旅行や林間学校、遠足といった楽しい行事がいつもの一学期にはあるんです。二学期の3, 4, 5年生の親善音楽会も中止になりました。6年生の陸上記録会も中止になりました。秋に修学旅行や遠足ができるか、まだわかりません。

でも、皆さんは立派です。我慢して、がんばって、毎日を過ごしています。

先生方も皆さんのことを褒めています。落ち着いている。しっかり勉強している。しっかり活動する。真面目に仕事をして早い。他にもたくさんあります。さすが、都留文科大学附属小学校の児童です。

明日からの夏休みは19日しかありません。1年生は知りませんが、いつもの夏休みの半分です。しかも新型コロナの病気はまた増えてきました。いつ、あなたや、あなたの家族や、あなたの友達を襲ってくるかもわかりません。コロナの病気に友達がかかったら、いやな人と思ってしまうますか？ それとも、心から心配してあげられますか？

ある別の地区のお年寄りに夏休みのことを聞きました。

「今の子どもたちは休みになると、だらだらと寝て、だらだらと起きて、だらだらとゲームをして、だらだらと食って、みんなだらだらだ。戦争の頃はそんな子どもはいなかった。コロナが来て、かえってしゃきっとするんじゃないか？」

一学期に立派だった附属小の皆さんは、夏休みをどう過ごしますか？そして二学期をどう始めますか？二学期もコロナの心配は続きます。校長先生は一学期の我慢と頑張りをそのまま続けてほしいです。

二学期の始業式には来年の6年生の発表もあります。二学期を楽しみにしています。

二学期もよろしく願いいたします